

平成27年度予算見積調書

課室名：生徒指導課
 担当名：非行・中退防止担当
 内線：6744

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B68	いじめ・非行防止学校支援推進事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	非行防止対策費		
事業期間	平成14年度～平成28年度	根拠法令	いじめ防止対策推進法第18条			戦略項目	06	時代に応え未来を拓く人材育成		
					分野施策	020102	子どもたちの豊かな心の育成と非行防止・立ち直りの支援			
1 事業概要 各教育事務所ごとに校長OB等によるいじめ・非行防止支援員を配置し、未然防止のためのネットワークの形成やいじめ問題解決のための支援チームを編成する。 (1) いじめ・非行防止支援員の配置 15,295千円 (2) いじめ・非行防止ネットワークの形成 147千円 (3) いじめ・非行対応支援チームの編成と行動連携 704千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア いじめ・非行防止支援員の配置 各教育事務所に校長OB等による支援員を配置(4教育事務所×2人)。いじめ・非行防止ネットワーク、いじめ・非行対応支援チームのコーディネート、生徒指導全般に係る指導・助言を実施。 15,295千円 イ いじめ・非行防止ネットワークの形成 各教育事務所ごとに、いじめ・非行防止ネットワーク構成員(教員、警察、保護司、PTA等)による連絡協議会を開催。未然防止のため、各学校への情報発信等を実施。 147千円 ウ いじめ・非行対応支援チームの編成と行動連携 困難な事案が発生した際に、支援チーム(学校、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等)による生徒、教員への支援を実施。チーム構成員の専門性を生かし、問題の早期解決を図る。 704千円						
2 事業主体及び負担区分 (1) (国1/3・県2/3) (2) (3) (県10/10)				(2) 事業計画 ア いじめ・非行防止ネットワークの活性化 いじめ・非行の未然防止の方法等について、ネットワーク内で活発な意見交換を実施。 イ いじめ・非行対応支援チームの編成、運営促進 いじめ・非行防止支援員が、個々事案に対する最適なチーム構成員を調整。チーム運営の進め方、客観的視点による事案背景分析など、随時指導・助言を行う。						
3 地方財政措置の状況 なし				(3) 事業効果 公立小中高等学校における暴力行為発生件数の減少 平成22年度：2,113件(小学校112件、中学校1,607件、高等学校394件) 平成23年度：1,817件(小学校103件、中学校1,329件、高等学校385件) 平成24年度：2,146件(小学校247件、中学校1,490件、高等学校409件) 平成25年度：1,956件(小学校271件、中学校1,362件、高等学校323件)						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.6人=5,700千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		国庫支出金	諸収入							
決定額	16,146	5,074	71					11,001	146	
前年額	16,000	5,026	70					10,904		